



## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		-	-	117,240 円					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	-	-	78,160 円					
	一般財源	-	-	39,080 円					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	調査に係る調査先数	受験者数の減少は、全国的な問題である中、加古川市はNHKでも取り上げられるほどの実績があるため。		目標	-	-	1	
					実績	-	-	1	
				目標達成率 (%)		-	-	100	
	②				目標				
					実績				
目標達成率 (%)									

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>国が提示している2040年問題にあるとおり、人口減少は避けられない社会問題であるが、加古川市は自助努力により、多くの受験者を確保し、人材の確保に努める先進的な団体であった。本県（市）町村にとっても、有能な人材を確保するための創意工夫を行うことが必要であり、今回の視察を通じて、関係（市）町に調査結果を還元することが出来るものであった。</p>

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由		
先方にも、本県の実情などを事細かに調整し、親身に回答をいただいたため。		
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	先進地の例を基に、本県実情を踏まえながら理論を構築できる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	有能な人材を確保することにより、行政の発展的な運営を行うことが可能となり、住民の暮らしの向上を図ることができる。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					